

## ✧ 海外ニュース ✧

スペイン 2024年6月5日 EL MUNDO

■ スペインの人民党は、中央政府に対して、マラガとアルヘシラス間を走る高速道路 AP-7 の通行料を免除するように要請した

El PP pide al Gobierno central que libere el peaje de la AP-7 entre Málaga y Algeciras

スペインの人民党は社会労働党のペドロ・サンチェス氏が率いる政府に対して、マラガとアルヘシラス間を走る高速道路 AP-7 の通行料を免除するよう要請をしている。当区間を結ぶ鉄道の代替交通手段がない状況下で、両地点を走る高速道路 AP-7 の通行料を免除することで勤労者の移動を簡便にし、交通の利便性を高められるとしている。この政策が実現すると、実際にこの高速道路を毎日利用する学生や、運転手、教師、医療従事者を含む勤労者が恩恵を受ける。

米国 2024年6月6日 ITS International

■ インドラ社、Q-Free 社に米国ノース・カロライナ州の高速車両プロジェクトを委託

Indra chooses Q-Free for North Carolina express lane project

米国ノース・カロライナ州の高速道路建設契約に関して、インドラ社は Q-Free's イントラダ・シナジー・サーバーに委託し、運転免許証が照合できるナンバープレートビデオを撮影し、通行料金を徴収する装置を採用することにした。これにより、通行利用時間をより正確に測定し、シャーロット地域における交通の流れを改善することができる。

ドイツ 2024年6月6日 Verkehrsrundschau

■ チロル州、ブレンナートンネルへの支線整備の迅速化とトラック通行料引き上げを要請

Tirol fordert Tempo bei Brennerzulauf und höhere Lkw-Maut

チロル州インスブルック（オーストリア）～ヴェローナ（イタリア）間のブレンナー高速道路では極度な渋滞が問題となっており、交通量低減策として同区間に鉄道トンネル建設が計画されている。これに関連してチロル州はドイツに対し、①バイエルン州のトラック通行料引き上げ、②新トンネルへ接続する同州内支線整備の迅速化を求めている。背景としては、① 2023 年にブレンナー高速道路を走行したトラックは延べ 240 万台で 90 年代末から倍増。多くは通行料の高いスイスを避ける目的でバイエルン～同高速道路を選択している。② 新鉄道トンネルは 2032 年の開業を目指しているが、バイエルン州から同トンネルへ連絡する支線の整備計画が住民の反対等から承認されていない。

ドイツ 2024年6月6日 Spiegel

■ 電気自動車の高速充電値下げの動き

Schnellladen für Elektroautos wird billiger

ドイツでは政府による電力料金引き下げを受けて、Ionomy, EnBW といった充電ステーション運営大手が高速充電料金の値下げを始めた。従来価格は平均で kWh あたり 49 セント（約 85 円）程度。契約（基本料金）なしでは 89 セント（約 155 円）程度だが、この価格だとガソリン車に乗るよりも高くつくことになる。Ionomy 社の新価格体系ではこれが 39 セント（約 68 円）/ kWh まで下がっている。ただし格安料金とセットで基本料金を設定する会社がほとんどで、Ionomy 社の場合も 39 セント/kWh は毎月 11.99 ユーロ（2,000 円強）の基本料金を支払った場合に適用される。また、充電場所によってやむを得ず他社の充電ステーションを使う場合、料金が大きく変動するという問題が残る。

米国 2024年6月7日 Electric Vehicle Charging & Infrastructure

■ 米国で国家電気自動車充電ネットワークを拡大するため資金提供 13 億米ドルへの申請を開始

Applications open for US\$1.3bn in funding to expand US national EV charging network

バイデン・ハリス政権は、都市・農村社会における指定ハイウェイ・州間高速道路および主要車道沿いの電気

自動車充電・代替燃料供給インフラに対する歴史的な13億米ドル規模の資金提供機会への申請を開始した。この資金提供機会は、超党派インフラ法の特徴的な電気自動車充電投資、すなわち電気自動車充電器を配備するため州や地方自治体へ戦略的助成金として確保された25億米ドルの充電および燃料供給インフラ任意助成金プログラムや国家電気自動車インフラフォーミュラプログラムによる資金により可能となっている。

インド 2024年6月10日 traffic technology today

### ■ インドの道路当局がスムーズな全地球的航法衛星システム通行料徴収を計画

Road authorities in India plan frictionless GNSS tolling

インド国道庁は、インド高速道路管理公社を通じ、インドにおいて全地球的航法衛星システムに基づく自動料金収受システムを開発、実装すべく世界中の企業から関心表明を求めている。最終的な目標は、国道利用者にシームレスでバリアフリーな通行料徴収を体験してもらい、料金運用の効率や透明性を高めることである。同庁は既存のFASTagエコシステム内での全地球的航法衛星システムに基づく自動料金収受システムの実装を計画しているが、初めのうちは同システムと無線自動識別に基づくシステムが同時に運用されるハイブリッドモデルを使用することになる。

米国 2024年6月10日 GlobeNewswire

### ■ 自動料金収受システム市場が2032年までに197億6千万米ドルに到達；交通インフラへの投資増加が成長を促進

Electronic Toll Collection Market to Reach USD 19.76 Billion by 2032 ; Rising Investment in Transportation Infrastructure to Propel Growth

2032年までに自動料金収受システム（自動車両分類システムセグメント、専用狭域通信セグメント、ハイウェイセグメント、事務管理セグメント）の市場は北米地区が最大規模を占めると予想される。市場規模拡大の要因は通行料管理システムの増設であり、システムの増設には費用がかかるものの技術開発の進歩に期待が高まっている。ただし課題は相互運用性であるため、自動料金収受システムの主要事業者であるトランスコア社等を含む自動車両識別システム等への投資が市場成長を促進するだろう。

米国 2024年6月12日 Highways News

### ■ ノーズリー地方議会の閣僚らがターマック社とAECOMへの幹線道路維持・設計契約を承認

Knowsley Council's cabinet approves highway maintenance and design contracts to Tarmac and AECOM

ノーズリー地方議会の閣僚らは、区の幹線道路網を維持、改良する契約の授与、さらに幹線道路設計を請け負う個別契約の授与を承認した。議会によると、この道路網は推定10億ポンドで議会の最も価値ある資産の1つであり、同区やより広範な都市地域の経済、社会、環境健全性にとって不可欠である。そのためインフラを維持、改良するにあたり適切な請負業者が選任されることが重要となる。契約は2025年2月1日から2032年1月31日まで継続するが、2035年1月31日までさらに3年間契約が延長するオプションがある。

オランダ 2024年6月13日 ITS International

### ■ コンデュエント社がオランダのA24/ブランケンブルクに係る契約を締結

Conduent makes contact on A24/Blankenburg in Netherlands

コンデュエント社は、オランダ ロッテルダムの主要道路区間で通行料徴収カスタマーコンタクトセンターを設置、運用する入札を勝ち取った。4kmのA24/ブランケンブルクは有料の6車線フリーフロー道路で、ローゼンブルフのA15号線とフラールディングゲンのA20号線を接続するものである。これが年内に開通すると、通行料を割り当てるための各車両の自動検知が停車、減速することなく可能となる。契約を授与したオランダ自動車協会は、同協会の道路通行料徴収部門が自身のスタッフとコンデュエント社のチーム・技術を、事業を行うために用いることになると述べている。

英国 2024年6月14日 Highways News

### ■ 道路業界が穴を塞ぐのではなく、予防するために資金を提供するよう政党に要請

Highways industry calls on political parties to direct funding to prevent not patch potholes

政党のマニフェストが公表された後、道路メンテナンス業界は、高額な後手後手の道路メンテナンスへ対する納税者の負担を減らすため、一時しのぎの穴補修を避け、予防的方法に焦点を当てるよう次期政権に要請している。道路メンテナンス業界は、政党が英国中の道路穴の数を減らすための地方自治体への資金提供に重点を置いていることを歓迎しているものの、現在の公約が、より安価で済む路面処理による穴の予防ではなく既存の穴の数を減らし道路を再舗装することにのみ焦点を当てていることに懸念を抱いている。

ドイツ 2024年6月16日 Spiegel

### ■ 交通省、高速道路への投資大幅削減を予定

Verkehrsministerium will Autobahn-Investitionen offenbar stark kürzen

ドイツ連邦交通省は来年度以降、高速道路への投資を大幅に削減する計画である。複数の報道によると、国全体の歳出削減が必要なことから、高速道路の運営維持管理会社アウトバーン社への支出は2025年度に今年度から約2割減の49.9億ユーロとし、続く2年間で約10億ユーロずつ減額する。ただしアウトバーン社は、特に緊急性が高い橋梁近代化工事のため、逆に予算増を求めている。同社以外にも高速道路と橋梁の修復・近代化の緊急性を訴え、予算削減計画を批判する声が多い中、環境保護団体グリーンピースは同計画を歓迎している。同団体は、少ない予算を効果的に活用できるよう、すべての新規建設プロジェクトの停止と精査を交通省に求めている。

米国 2024年6月17日 World Highways

### ■ シアトル地区のハイウェイ拡張に8億3,400万米ドル

US\$834 million for Seattle area highway widening

建設はワシントン州の交通局から工事の契約が与えられたスカンスカ社によって行われている。このプロジェクトにはボセルを通るI-405号線の7.2km区間の改修が含まれ、2028年に工事が完了することになっている。エイコム社はプロジェクトの主要設計業者としてスカンスカ社と提携している。改善には有料エクスプレスレーン容量の増強や州道への直接アクセス、SR 522～527号線間の各方向の有料エクスプレスレーンの建設、I-405号線～SR522号線インターチェンジの拡張、SR522号線の有料エクスプレスレーンへの直接アクセスランプの建設等が含まれる。

ベルギー 2024年6月20日 World Highways

### ■ 10億ユーロのヘントハイウェイ整備が進行中

€1 billion Ghent highway upgrade under construction

R4東西環状道路を整備するためフランデレン地域で工事が行われているが、これはベルギー最大のインフラ官民連携の1つである。大規模インフラプロジェクトを担当する同地域の機関De Werkvennootschapと協力し、新規プロジェクト企業BRAVO4はヘントと港をつなぐ主要幹線道路のヘント環状道路を活性化している。これには設計、改修、融資、環状道路既存部の長期維持の保証が含まれる。プロジェクトの目的は、地域の経済活動にとって重要な国内最大級の港へのアクセスの改善、地元の交通安全の改善、グリーンモビリティの促進、周辺居住地区の環境改善である。

ドイツ 2024年6月20日 Toll Collect

### ■ 7月1日からトラックの通行料課金制度改正 - 運業者が対策呼びかけ

Mautpflicht ab 1. Juli - Handeln Sie jetzt!

ドイツでは2024年7月1日より、車両総重量(tzGm)3.5トン超のトラックが新たに高速道路通行料徴収の対象となった。トラック通行料システムの開発・運営を担うToll Collect社では、対象となる車両に車載器の設置を呼びかけている。設置の際は同社または欧州電子道路課金サービス(EETS)プロバイダーへの登録が必要となる。新課金ルールには例外措置があり、車両総重量3.5トン以上7.5トン未満の手工業事業者のトラックで、

業者の従業員が運転しており、事業に必要な材料や設備・機械、あるいは自社内で手工業により制作された物品等を運搬するものについては、通行料が免除される。連邦ロジスティクス・モビリティ庁のリストには現在 164 の対象手工業が掲載されている。

英国 2024 年 6 月 20 日 World Highways

### ■ 高速道路の労働者にとってより安全な道路を

Safer roads for highway workers

欧州有料道路インフラ協会は 2024 年 6 月 20 日、高速道路でドライバーの安全と快適性に取り組む人々への関心を集めるため、第 2 回ヨーロッパ・デー意識向上キャンペーンを立ち上げる。実施の最大の狙いは、予防を通して巡査の安全を確保し、巡査とドライバー間のつながりを高めることであった。また実施の目標は、長期的に高速道路パトロールでドライバーが積極的に関与し、独自の役割を果たすことを可能にし、認知度を高めることを促すことにある。これにより友好的な雰囲気が生まれ、時間を共に過ごすことで重量物運搬車ドライバーと巡査間の交流が促されるはずである。

米国 2024 年 6 月 21 日 FHWA

### ■ テイトン・パス地滑りでの 22 号線への損害を修復するため、米国運輸省が 600 万ドルの「迅速な」緊急救援資金をワイオミング州の交通局に提供

U.S. Department of Transportation Provides the Wyoming Department of Transportation \$ 6 Million in 'Quick Release' Emergency Relief Funding to Repair Damage to Highway 22 in Teton Pass Landslide

資金はワイオミング州アイダホ州境近くで安全な一時迂回路を建設するためにも使用されるが、これによりジャクソンホール、イエローストーン国立公園、グランド・ティトン国立公園といった人気の観光スポットへの重要なアクセスが修復される。仮設道路での作業が進む中、マイルポスト 15 の土砂崩れ地域でのボックスカルバートを含む排水改善も追加される予定である。目標は、この重要な道路を頼りに目的地にたどり着く住民、通勤者、観光客のため州間の不可欠な交通の流れを回復することである。

フランス 2024 年 6 月 26 日 EIFFAGE

### ■ 欧州大西洋連結道路 (ALIAE) A-79 : フリーフロー料金徴収システムの高速道路の利用者にとって新規事項

ALIAE-A79 : des nouveautés pour les clients de l'autoroute à péage en flux libre

大手建設会社エファージュの関連組織である欧州大西洋連結道路 (ALIAE) は、高速道路 A79 を利用する顧客のために新しい支払いサービスを発表した。これにより、最初のフリーフロー料金徴収システムを備えた高速道路がフランス中心部に登場する。高速道路を利用する車両の走行記録について情報が確認され、さらに分析と評価がなされた後、課金される通行料金が算出される仕組みである。

オーストリア 2024 年 6 月 27 日 ASFINAG

### ■ Inzersdorf 道路維持管理事務所の屋根に超小型風力タービン— グリーンエネルギーを供給

Mikro-Windturbine auf dem Dach der Autobahnmeisterei Inzersdorf liefert grünen Strom

オーストリアの高速道路建設運営事業体 ASFINAG は、このほど、ウィーン南部の Inzersdorf にある同社道路維持管理事務所の屋上に設置した超小型風力タービン 1 基の稼働を開始した。同社は 2030 年までに自社消費電力の実質自給自足を目標に掲げている。この革新的な風力タービンは高さ 8 m、直径約 2.5 m で、稼働と同時に同社独自の再生エネルギー送電網兼大容量蓄電施設である「東部エネルギーリング (Energie-Ring Ost)」へグリーンエネルギーの供給を開始した。このプロジェクトは ASFINAG 社内で考案、独スタートアップ LuvSide 社と共同で開発・実施。同様の風力タービンが既にチロル州のヨーロッパ橋で稼働しており、今後も増設が予定されている。ASFINAG はこのほか太陽光発電、水力発電にも投資している。